

「屋島山上拠点施設基本構想(事務局案)」に対する御意見と市の考え方

頁	項目	御意見	市の考え方
2	1 基本構想策定の趣旨 2段落目	「源平合戦、屋嶋城跡等のガイダンス設備」について、屋島の成り立ちや自然環境などの自然科学の分野もガイダンスの対象として加える。	「屋島活性化基本構想」の引用部分となっております。 御意見の要素については、「屋嶋城跡等」の「等」に含んでおります。
2	1 基本構想策定の趣旨 2段落目	「観光的な側面と文化的な側面を合わせ持つ」について、「市民が自然を親しみながら健康づくりをする」要素も加える。	「屋島活性化基本構想」の引用部分となっております。 「健康づくり」の要素については、3ページ「(1)基本的考え方」の4段落目で記述しております。
2	1 基本構想策定の趣旨 3段落目	「山上を訪れる人々～」は、「情報発信とエンターテインメント性を兼ね備えた」のような記述に変更する。	「屋島活性化基本構想」の引用部分となっております。 エンターテインメント性は、情報発信やイベント開催などの機能の中に含まれるものと考えております。
2	1 基本構想策定の趣旨 3段落目	「山上を訪れる～行う」は、「山上を訪ねたくなるような、感動や知識欲を満たす体験ができる拠点にすることで、他施設にも影響を与え、人が集まり、学び、楽しみ、交流が生まれる屋島山上の施設づくりを行う。」に変更する。	「屋島活性化基本構想」の引用部分となっております。 3ページ「(1)基本的考え方」の5、6段落目で、御意見の趣旨を記述しております。
3	(1) 基本的考え方 1段落目	「来訪者」の定義と来訪者数の計測方法を明確に。 地域住民もカウントすべき。	観光客や登山者、地域住民を含め、訪れる全ての人を指しております。 屋島山上への来訪者数は、現状では、ドライブウェイの利用者数で計測しており、徒歩での登山者は計測できておりませんが、今後、推計方法を検討してまいります。

頁	項 目	御 意 見	市の考え方
3	(1) 基本的考え方 2段落目	「1度訪れてみたかった」「また来たい」という思いを心に残す設備が必要である。」を追記する。	5段落目の、施設の位置付けの中で、記述を検討します。
3	(1) 基本的考え方 3段落目	「しかし、屋島の価値や学びについて、来訪者が自ら興味を持ち、感動するような工夫が必要である。」との内容を追記する。	5段落目の、施設の位置付けの中で、記述しております。
3	(1) 基本的考え方 6段落目	「交流」の意味が不明。 利用者間での交流か、利用者と誰かとの交流か、具体的な内容が見えない。	人と人が接するという、幅広い意味で用いております。
3	(1) 基本的考え方 7段落目	「自然環境や人文環境にマッチした外観と空間を有する」ことは必要条件であり、その上での「アートとしての魅力」である。目立つ建物はふさわしくない。建物の高さは、樹木の高さに配慮する。	基本的な考え方の項目であるため、掲げるべき要素として記述しております。 具体的な高さについては、設計段階で決まってくるものと考えております。
3	(2) 整備に当たったの基本方針	エは不要。 眺望は歩いて楽しみ、拠点施設は、そのガイダンスを行うもの。	「眺望の良さ」は、拠点施設の重要な要素の一つと考えております。
3	(2) 整備に当たったの基本方針	ア、ウ、エ、カについては、具体的スペースを必要とする項目ではない。 「学び」と「交流」に限定せず、「おもてなし」や「水族館とのエリア共有」など、エンターテインメント性を取り入れる。	整備に当たったの基本方針として、市の基本的な考え方を記述しておりますが、記載の順番等について検討します。
3	(2) 整備に当たったの基本方針 オ	「交流」の内容を具体的に。	人と人が接するという、幅広い意味で用いております。

頁	項 目	御 意 見	市の考え方
4	(1) 事業用地の概要	<p>事業用地は屋島レストセンターYC跡地のほうが勝る。 駐車場に隣接し、北嶺・南嶺の結節地であるとともに、各方向に通じる中核的位置にあり、来訪者のための施設としての条件を満たす。</p>	<p>屋島レストセンターYC跡地との比較において、総合的に判断したものです。 なお、懇談会での議論を踏まえ、決定してまいります。</p>
4	(1) 事業用地の概要	<p>事業用地は屋島レストセンターYC跡地のほうが勝る。</p> <p>事務局案の問題点 ・場所が奥まっている。 ・北嶺や屋嶋城へのアクセスが不便。 ・眺望は2次的な条件である。 ・事務局案の場所には、眺望を楽しむレストラン等がふさわしい。</p> <p>YC跡地の問題点への反論等 ・通行車両からの安全確保は駐車場の改良等で解決できる。 ・景観を楽しむことは、必須ではない。 ・事務局案の場所に建設し、さらにYC跡地に情報提供施設を整備することは、施設の重複になる。 ・動線上、YC跡地から反時計回りで水族館や獅子の霊巖、屋島寺に誘導でき、屋島寺については正面から参詣できる。</p>	<p>事務局案の用地については、高松市が地権者から借り受けており、レストラン等の整備は考えておりません。 事業用地については、拠点施設からの眺望の良さを重要な要素の1つと考えております。 なお、懇談会での議論を踏まえ、決定してまいります。</p>
5	①取り入れるべき機能としての要素	<p>飲食・物販等の機能を除外したのは早計であり、議論を要する。</p>	<p>懇談会での議論を踏まえ、決定してまいります。</p>
5	①取り入れるべき機能としての要素	<p>飲食・物販等の機能は是非導入すべき。</p>	<p>懇談会での議論を踏まえ、決定してまいります。</p>

頁	項 目	御 意 見	市の考え方
5	①取り入れるべき機能としての要素 イ	「牟礼・庵治地区を含む屋島地域」を「牟礼・庵治地区・女木島、男木島等瀬戸内海に浮かぶ島々」に変更する。	屋島地域を中心に、本市全ての文化観光情報が含まれていると考えております。
5	①取り入れるべき機能としての要素 ウ	景観を楽しめることは不要。	「眺望の良さ」は、拠点施設の重要な要素の1つと考えております。
5	①取り入れるべき機能としての要素 エ, オ	必要としないのではないか。	エ:遠足や見学者用のレクチャールームは必要と考えております。 オ:エントランスホールや敷地内の広場など、野外活動の際に、集合場所、休息場所等の利用を考えております。
5	②整備規模等	木造・木材使用については、現段階で言及すべきではない。	構想では言及しておらず、構造や使用資材は、設計段階で決まってくるものと考えております。
5	②整備規模等	建物の高さは、低いほうが景観的にはよい。	建物の高さは、設計段階で決まってくるものと考えております。
5	③建物の特徴 ア	「落ち着いた風格のある」は、「斬新な」に変更する。	屋島にふさわしい施設として記述したのですが、検討してまいります。
5	③建物の特徴 イ	コンクリート造ではなく、地元の土と石と木を使った建物が望ましい。	構造や使用資材は、設計段階で決まってくるものと考えております。
5	③建物の特徴	プラネタリウムの整備を追加する。	現段階では、取り入れるべき機能として考えておりません。

頁	項 目	御 意 見	市の考え方
6	(3) 整備の手法 イ 設計手法	屋島山上拠点施設整備は、屋島の将来を占う重要なプロジェクトであり、屋島の未来を示すような、また、人が集まってくるような魅力あるデザインが求められる。このことから、屋島にふさわしいデザインを選ぶために、デザインコンペを行うべきである。	懇談会での議論や御意見の趣旨も参考に、3つの方法のメリット・デメリットを十分に検討した上で、慎重に決定してまいります。
6	(3) 整備の手法 イ 設計手法	早急に決定すべき。3つの手法の比較用資料を用意すべきである。	設計者の選定については、3つの方法のメリット・デメリットを十分に検討した上で、慎重に決定してまいります。
6	(5) 概算事業費と財源	項目として、人材の確保の具体的案を追加すべき。	8ページの「5 管理運営」の中で検討してまいります。
7	(2) 他の屋島活性化施策・事業等との連動 ア	(イ)と(ウ)の間に、「情報発信ステーション(仮称)の新設」を追加する。(アンテナショップ、マスコミ等を利用してのPR)	5ページの「①取り入れるべき機能としての要素 ◎想定される施設内容」の中で、検討してまいります。
7	ア 便益施設等の環境整備 (ア)	案内板は、拠点施設ができる前に早期に整備すべき。	案内板の整備については、屋島活性化推進計画の取組の中で、別途対応してまいります。
7	ア 便益施設等の環境整備 (ア)	「わかりやすい案内看板という機能性だけでなくデザイン性の工夫により子供たちにも回遊することが楽しめるような工夫や演出をもたらす。」を追記する。	御意見を踏まえ、検討してまいります。
7	ア 便益施設等の環境整備 (ウ)	拠点施設を屋島レストセンターYC跡地に整備すれば不要。	懇談会での議論を踏まえ、決定してまいります。

頁	項 目	御 意 見	市の考え方
7	ア 便益施設等の環境整備 (ウ)	「駐車場からは、階段、段差などあり、車いすでの移動、電動カーなどでの移動も可能な道路整備も必要である。」を追記する。	御指摘の点は、駐車場から、水族館前を経由するルートにおいて、移動が可能と考えております。
8	5 管理運営 (1), (3)	「市民の参画」の内容が不明。NPOと屋島山上他施設との調和は困難では。	施設の運営について、市民やNPOの参画は、必要と存じております。また、他の施設との連携も、必要と考えております。